

対象とするEDINETタクソノミ：2008-02-01版

※本注意事項は随時更新されますので、XBRLデータを作成する際には常に最新の情報をご確認いただけますようお願いいたします。

NO	公開日	業種等	対象	分類	現状のEDINETタクソノミの設定 によった場合の問題点	実現されるべき結果	XBRLデータ作成時の対処方法	今後のEDINETタクソノミ等の改修予定
1	平成20年10月31日	投資信託受益証券	中間貸借対照表 中間損益及び剰余金計算書	名称リンク	中間貸借対照表において「中間剰余金又は中間欠損金(Δ)」が「中間期末残高」と、中間損益及び剰余金計算書において「期首剰余金又は期首欠損金(Δ)」「中間剰余金又は中間欠損金(Δ)」が、それぞれ「前期末残高」「当中間期末残高」と誤って表示される。	それぞれ「中間剰余金又は中間欠損金(Δ)」「期首剰余金又は期首欠損金(Δ)」「中間剰余金又は中間欠損金(Δ)」と表示されるべきである。	<p>以下の項目をタクソノミに追加し、表示リンク、計算リンクおよび定義リンクに設定し、使用してください。</p> <p>要素名：「SurplusDeficitInterimFND」（貸借区分は「貸方」、期間・時点区分は「時点」） 標準ラベル：「剰余金又は欠損金(Δ)」 冗長ラベル・ドキュメンテーション：「剰余金又は欠損金(Δ)、中間、投資信託」 期首ラベル：「期首剰余金又は期首欠損金(Δ)」 期末ラベル：「中間剰余金又は中間欠損金(Δ)」 標準ラベル（英語）：「Surplus (deficit)」 冗長ラベル・ドキュメンテーション（英語）：「Surplus (deficit)-interim-FND」 期首ラベル（英語）：「Surplus (deficit) at beginning of period」 期末ラベル（英語）：「Surplus (deficit) at end of period」</p> <p><表示リンク> 中間貸借対照表において、上記追加項目を「剰余金、タイトル項目、投資信託」の下（子）の階層で一番先頭に表示されるよう設定してください。preferredLabel属性の設定において期末ラベルを表示する設定をすることにより「中間剰余金又は中間欠損金(Δ)」と表示します。 また、中間損益及び剰余金計算書において、同項目を「損益及び剰余金計算書」の下（子）の階層で「一部解約に伴う当期純利益金額の分配額」の次に表示されるよう設定してください。 preferredLabel属性の設定において期首ラベルを表示する設定をすることにより「期首剰余金又は期首欠損金(Δ)」と表示します。 さらに、中間損益及び剰余金計算書において、同項目を「損益及び剰余金計算書」の下（子）の階層で末尾に（中間損益及び剰余金計算書の末尾に）表示されるよう設定してください。preferredLabel属性の設定において期末ラベルを表示する設定をすることにより「中間剰余金又は中間欠損金(Δ)」と表示します。</p> <p><計算リンク> 中間貸借対照表において、上記追加項目を「元本等」の内訳（子）の階層に計算項目（加算減算区分を「1」として設定してください）。</p> <p>なお、中間損益及び剰余金計算書には設定しないことに注意してください（期間・時点区分が異なる勘定科目間の加減算関係となるため）。</p> <p><定義リンク> 貸借対照表（http://info.edinet-fsa.go.jp/fr/gaap/fnd/role/BalanceSheets）および損益及び剰余金計算書（http://info.edinet-fsa.go.jp/fr/gaap/fnd/role/StatementsOfIncome）のそれぞれにおいて、上記追加項目を「剰余金又は欠損金(Δ)」の内訳項目（子）として設定してください。</p> <p><報告書インスタンス> 上記追加項目に対して金額を入力します。既存の「剰余金又は欠損金(Δ)」（要素名「SurplusDeficitFND」）に金額を入力しないよう注意してください。</p> <p>なお、既存の「剰余金又は欠損金(Δ)」（要素名「SurplusDeficitFND」）については、金額を入力しないことにより最終の財務諸表としては表示されませんので、削除等により設定変更する必要はありません。</p>	要素「SurplusDeficitFND」の中間財務諸表における期首ラベルを「期首剰余金又は期首欠損金(Δ)」と、期末ラベルを「中間剰余金又は中間欠損金(Δ)」と、それぞれ修正する予定です。